

開講学科	教職センター（生物工学科）	実務家科目				前橋工科大学 シラバス			
		○							
科目名	教育実習Ⅰ	標準対象年次	選択／必修		科目コード				
		3年次	必修		21001301				
担当教員	小林 清、菅原一晴	単位数	学期	曜日	時限				
		2単位	前期	集中講義					
授業の教育目的・目標	教育実習は、教育現場において生徒とのかかわりを通じて、① 生徒理解を深め、生徒とのかかわり方を学ぶこと、② 職場としての学校生活を体験すること、③ 教職意識を高め、適性を吟味すること、④ 教育理論の実証的研究をすることを目標とする。								
学科の学習・教育目標との関係	「社会人としての確かな見識と現場での実践力を備え、生徒への支援ができる。」という目標を達成するために、総合的な実践力を身につける。また、その資質能力や進路に関して自己分析する。								
キーワード	学校現場の体験、教科教育、生徒指導								
授業の概要	大学で学んだ一般理論を学校現場で実際に活用し、総合的に検証研究をする機会とする。そして、社会における教育や教職の役割などを実際に体得する。また、授業経験の機会だけでなく、教育の様々な現実の姿、例えば生徒の発達、生徒集団のダイナミズム、教師の生き方等についても学ぶ。								
授業の計画	<p>前半 教育実習校におけるオリエンテーション、実習校の概要や特色についての講話、実習における指導方針の伝達、指導教員との打ち合わせ</p> <p>中半 指導教員、教科担当教員等の授業見学、学習指導案の作成、生徒指導</p> <p>後半 担当教科の授業実施、生徒指導、研究授業の準備</p> <p>まとめ 研究授業の実施 研究授業の研究会（研究授業後に指導教員および関係教員から指導）</p>								
受講条件・関連科目	受講条件：教職課程履修登録者、本年度教育実習予定者 教育実践に関する科目（教育実習事前事後指導）								
授業方法	講義、実習								
テキスト・参考書	参考書：本学作成の教育実習の手引き及び教育実習記録								
成績評価	・試験（ ） ・レポート（40%） ・その他（60%）実習校からの評価・所見 注意事項（ ） 実習校の評価、所見、実習日誌の記載内容、実習レポートの内容を総合的に判断し単位を認定する。								
履修上の注意	教員としての自覚と誇りをもって行動し、教育効果を上げるように全力で取り組むこと。実習中は社会人としてもモラルを十分にもち、謙虚に、誠実に学ぶ態度、そして行動をすることが大切である								